

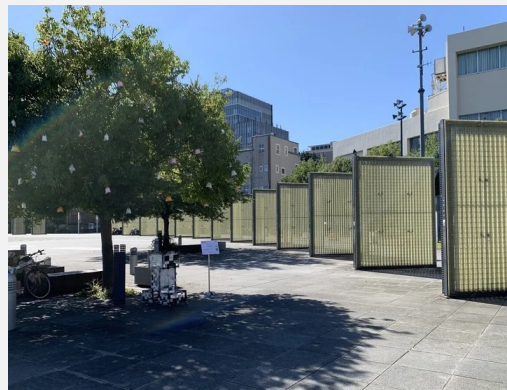
ナッジを都市に織り込むーまちなかなナッジプロジェクトの取組ー

Nudge in Street: the Urban Nudge Project

植竹 香織¹, 糸井川 高穂²
ポリシーナッジデザイン合同会社¹, 宇都宮大学²

(1)背景と目的

【背景】都市空間はさまざまな営為が営まれる空間であり、そこでは日々数多くの行動や選択が意識的、無意識的に行われている。温暖化対策や環境保全対策をはじめとする環境課題に関する行動変容を促すにあたっては、行動面での阻害要因が大きいことが知られている。そこで、自発的な行動変容を促すナッジを用いて、意識せずとも環境にやさしい状態が実現できる都市空間デザインの実装を目的として取組を実施した。



(2)方法

【方法】2021年10月2-3日にかけて横浜市のみなとみらい21地区で開催されたFuturescape Projectに合わせて、象の鼻パーク内に「動くナッジごみ箱」を1台設置した。このごみ箱は、子供に人気のゲームのキャラクターからヒントを得たものである。ごみ箱の中身が外から見えるよう透明な躯体とし、また底面には車輪を設置してゲームの中と同様可動できるようにした。



(3)結果と展望

【結果】今回はデモ的な展示にとどまり効果検証は実施できなかったものの、来場者からは好意的な反応が見られた。特に、子どもや若者が大きな関心を示し、同伴の大人も一緒に近寄るなどの様子が見られた。ごみという忌避されがちなものに対して、注目を集め、関心を引くことで、ポイ捨て防止やごみの分別促進などにも応用できる可能性を見出すことができた。

【展望】今後は、より長い期間設置して一般のごみ箱との効果の違いを検証したり、ビジネス街や郊外なども含む多様な立地に合わせたデザインを考案、検証するなどして、実際の都市空間にナッジを織り込み自発的な行動変容を促す取組を続けていく。

